

# 企業景況調査報告書

(平成30年4～6月期)

## < 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	..... 1
質問2 (直面している経営上の問題点)	..... 2
質問3 (賃上げ実施状況)	..... 3
質問4 (意見等自由記載欄)	..... 4
DI集計結果・分布	..... 5～7
調査票様式	..... 8

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成30年4～6月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社)
調査方法	各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	平成30年7月上旬
回収状況	91社(回収率91%) ※前回(1～3月)96社 (建設業20社、製造業18社、卸売業10社、小売業21社、サービス業16社、その他6社)

## <今期の状況> (5ページ表参照)

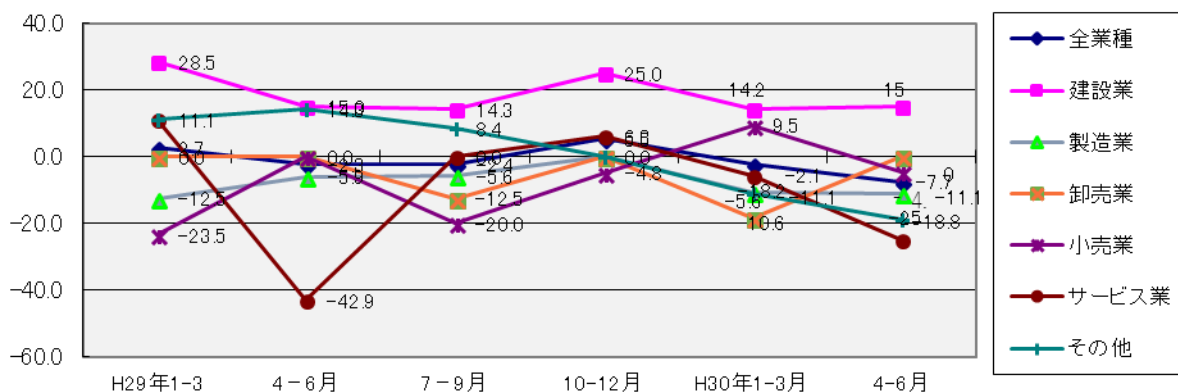
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲2.1から下降し、▲7.7となった。業種別に見ると、製造業・小売業・サービス業・その他の業種で下降しており、それぞれ製造業は▲11.1(前期▲10.6)、小売業は▲4.7(前期9.5)、サービス業は▲25(前期▲5.6)、その他の業種は▲18.8(前期▲11.1)と下降している。一方、建設業と卸売業では上昇しており、それぞれ建設業は15.0(前期14.2)、卸売業は0.0(前期▲18.2)という状況である。

## <来期の見通し> (5ページ表参照)

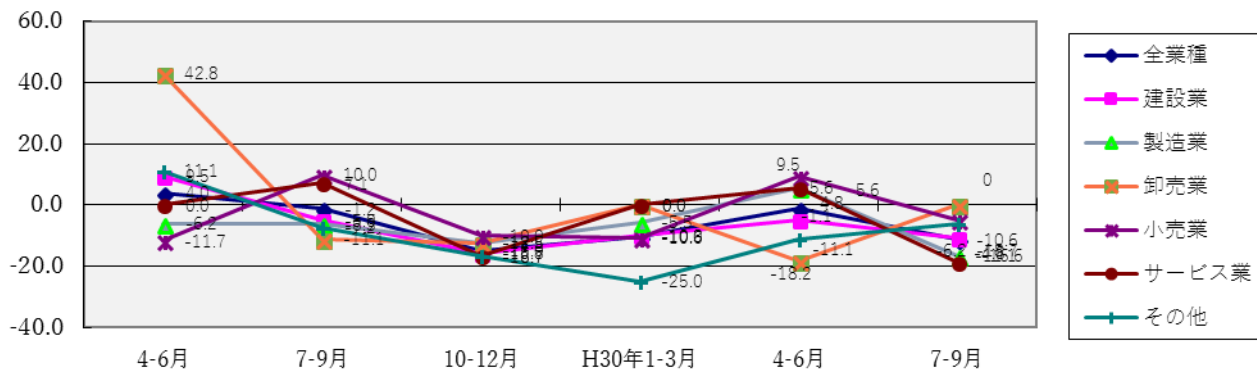
来期の見通し(平成30年7～9月)では、全業種のDI値は前期の▲1.1から下降し、▲11.1となった。業種別に見ると建設業では▲10.6(前期▲4.8)、製造業は▲16.6(前期5.6)、小売業は▲4.8(前期9.5)、サービス業は▲18.7(前期5.6)と4業種で下降する見通しとなった。一方、卸売業は0.0(前期▲18.2)、その他の業種は▲6.2(前期▲11.1)と2業種で上昇する見通しとなった。今期の状況・来期の見通しともに全体的に下降傾向にあり、ほとんどの業種が売上・受注の減少や人手不足を経営上の問題点として挙げている。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

### (1) 今期の状況 <業種別>



### (2) 来期の見通し<業種別>



### ※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味のものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足  
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

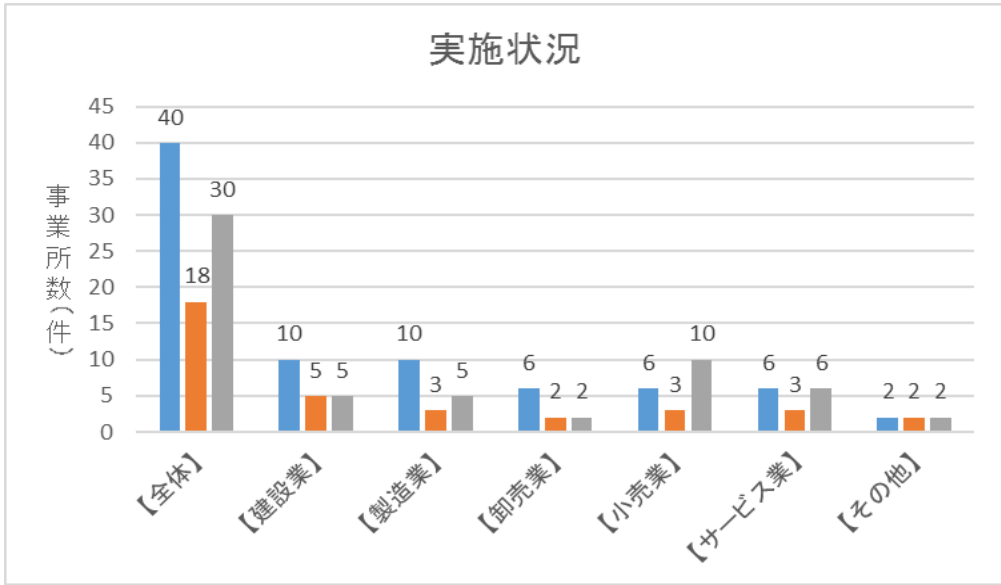
※（ ）内は件数

分類		1位	2位	3位
全業種	当期	売上・受注減少 (36)	人手不足 (33)	原材料・仕入価格上昇 (30)
	前期	売上・受注減少 (38)	競争激化 (37)	人手不足 (34)
建設業	当期	人手不足 (10)	売上・受注減少 (9) 利益率低下 (9)	原材料・仕入価格上昇 (6) 経費の増加 (6)
	前期	人手不足 (10)	売上・受注減少 (8) 利益率低下 (8)	競争激化 (7) 原材料・仕入価格上昇 (7)
製造業	当期	原材料・仕入価格上昇 (9)	売上・受注減少 (7)	人手不足 (6)
	前期	原材料・仕入価格上昇 (9)	売上・受注減少 (7) 店舗・生産設備不足・老朽化 (7) 人手不足 (7)	競争激化 (6) 経費の増加 (6)
卸売業	当期	原材料・仕入価格上昇 (6)	競争激化 (4) 売上・受注減少 (4) 経費の増加 (4)	人手不足 (3)
	前期	競争激化 (5) 原材料・仕入価格上昇 (5) 利益率低下 (5)	売上・受注減少 (4) 経費の増加 (4)	人手不足 (3)
小売業	当期	消費・需要の停滞 (11)	競争激化 (10)	売上・受注減少 (6) 人手不足 (6) 利益率低下 (6)
	前期	消費・需要の停滞 (13)	売上・受注減少 (11)	競争激化 (9)
サービス業	当期	人手不足 (7)	消費・需要の停滞 (5) 売上・受注減少 (5) 店舗・生産設備不足・老朽化 (5)	競争激化 (4)
	前期	競争激化 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (6)	経費の増加 (5)
その他	当期	売上・受注減少 (5)	経費の増加 (3)	競争激化 (2) 新分野進出 (2)
	前期	売上・受注減少 (6)	消費・需要の停滞 (3)	競争激化 (2) 新分野進出 (2)

17. その他の課題

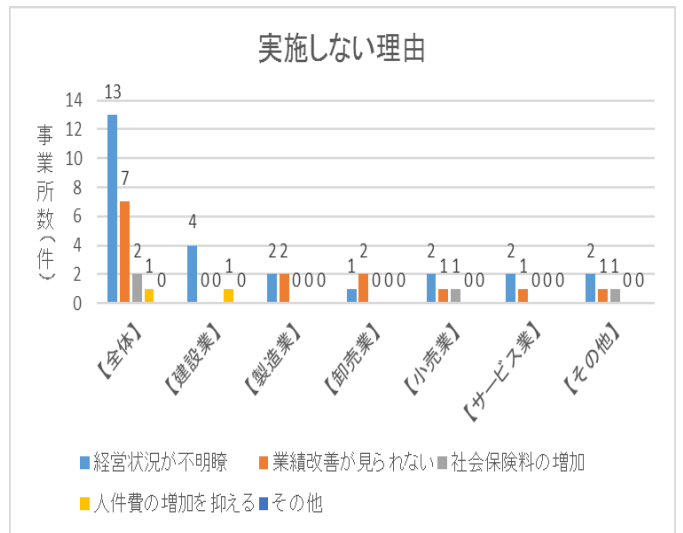
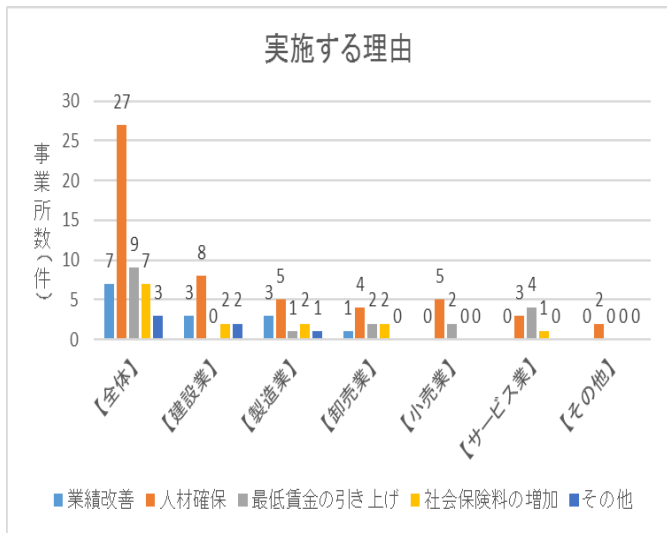
- ・後継者問題
- ・熟練者不足
- ・人口減少

質問3 2018年度(2018年4月～2019年3月)の賃上げの状況について



	全体	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
■ 実施	45%	50%	56%	60%	32%	40%	33%
■ 見送り	20%	25%	17%	20%	16%	20%	33%
■ 未定	34%	25%	28%	20%	53%	40%	33%

賃上げの実施状況については、「実施」と回答した事業所が全体の45%、「見送り」が20%、「未定」が34%であった。業種別に見ると、建設業・製造業・卸売業では「実施」という回答が多く、小売業では、「未定」の回答に次いで「実施」が多い結果となった。また、サービス業とその他の業種では「実施」と「未定」が同じ割合となった。



賃上げを実施する理由としては「人材確保」という回答が全業種で最も多かった。近年の人手不足に起因するものと考えられ、人手不足の解消が喫緊の課題であることが窺える。「業績改善」、「最低賃金の引き上げ」、「社会保険料の増加」も各業種で0～3件程あり、その他にも「勤務年数に応じて実施する」という回答もあった。

一方、実施しない理由としては、「経営状況が不明瞭」という回答が最も多く、次いで「業種改善が見られない」、「社会保険料の増加」等が挙げられた。今期・来期ともに景況感が下降傾向であったが、やはり経営状況に不安を抱く事業所が多いことが窺える結果となった。

#### 質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

##### 【建設業】

- ・低金利の貸付けが利用できればありがたい。
- ・人手不足による人員確保のため賃上げを実施せざるを得なくなっている。今期はまだしも、来期以降売上減少が予想される。消費税 10%への移行や、東京オリンピックの特需が終了する頃には益々仕事が減少し、景気が悪化する事が予想され、経営的に圧迫されると考える。
- ・国、県、市、町の公共建築減少。

##### 【製造業】

- ・宅配運賃に続き、商業荷物の運賃の値上げに伴い製品価格の値上げの検討をせざるを得ない状況。また、6月の大きな地震による関西地区への影響が懸念される。毎年のように自然災害が発生し、観光面は影響は大である。

##### 【卸売業】

- ・コンビニ及び安売り店舗が多くでき、売上もあがらず苦戦しています。

##### 【小売業】

- ・従業員の高齢化、人員体制の見直し、事業内容の整理、強みの強化。
- ・専門職の人材が確保できない。

##### 【サービス業】

- ・去年は震災後の工事が多かったが、落ち着いてきた。関西の地震の影響もあり観光キャンセルが多くなる。
- ・近年、仕事を受注するのに資格が多すぎると思う。ある程度必要ではあると思うが、市・町が県より厳しいのはやりすぎではないかと思えます。必要な資格のほとんどが民間資格で、国家公務員の退職後の天下り組織であると思われる。又、その政策は大手企業に有利になっている。
- ・天候に左右されることが多いです。
- ・消費停滞。
- ・客数が減少して売上が減少。

##### 【その他】

- ・消費停滞及び購入形態の変化に伴う売上減少、雇用確保。

D I 集 計( 前年同期比＝H30年4～6月期、来期の見通し＝H30年7～9月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.9	-13.8	8.9	1.2	-23.3	-14.9
製造業	-22.2	-11.8	11.7	-5.8	-27.7	-11.1
非製造業	-6.8	-14.3	8.2	2.8	-22.2	-16.0

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-1.1	-4.5	11.2	9.0	6.8	2.3
製造業	-5.5	-5.5	16.7	16.7	16.6	0.0
非製造業	0.0	-4.3	9.9	7.2	4.2	2.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-7.7	-11.1
製造業	-11.1	-16.6
非製造業	-6.8	-9.7

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.9	-13.8	8.9	1.2	-23.3	-14.9
建設業	10.0	-31.6	5.0	0.0	-5.3	-22.2
製造業	-22.2	-11.8	11.7	-5.8	-27.7	-11.1
卸売業	-10.0	-11.1	10.0	10.0	0.0	0.0
小売業	-14.3	-5.0	4.8	5.0	-28.6	-25.0
サービス業	-12.5	-12.5	18.7	6.3	-37.5	-6.7
その他	-16.6	0.0	0.0	-16.7	-50.0	-16.6
非製造業	-6.8	-14.3	8.2	2.8	-22.2	-16.0

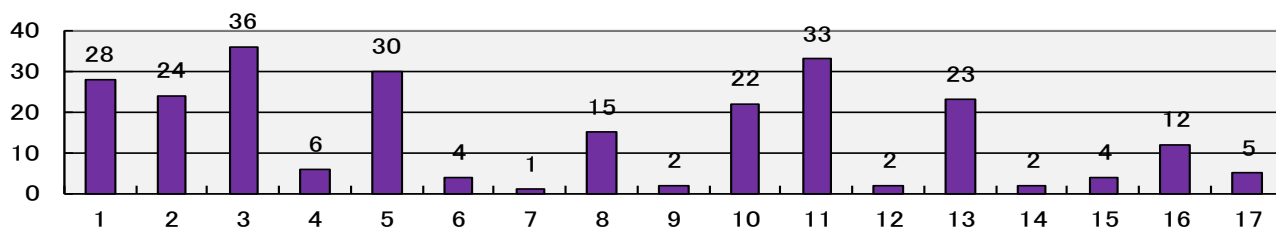
	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-1.1	-4.5	11.2	9.0	6.8	2.3
建設業	-5.0	-5.3	25.0	21.0	-5.0	-5.3
製造業	-5.5	-5.5	16.7	16.7	16.6	0.0
卸売業	0.0	0.0	10.0	10.0	33.3	11.1
小売業	0.0	-5.0	4.7	5.0	0.0	0.0
サービス業	6.2	0.0	0.0	0.0	6.6	6.6
その他	0.0	-16.7	0.0	-16.7	0.0	6.7
非製造業	0.0	-4.3	9.9	7.2	4.2	2.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-7.7	-11.1
建設業	15.0	-10.6
製造業	-11.1	-16.6
卸売業	0.0	0.0
小売業	-4.7	-4.8
サービス業	-25.0	-18.7
その他	-18.8	-6.2
非製造業	-6.8	-9.7

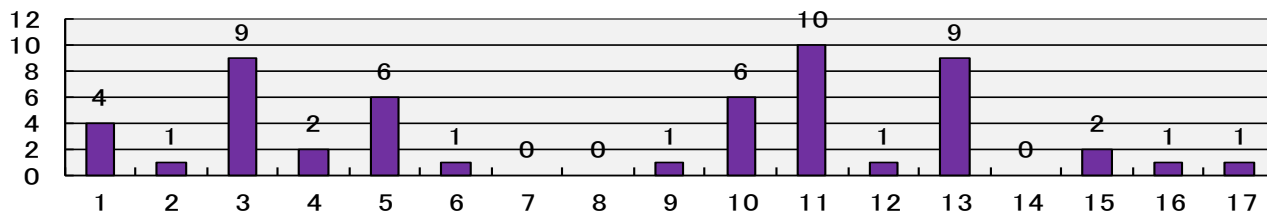
質問 2 今期直面している経営上の問題点

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化          | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞      | 11 人手不足  |
| 3 売上・受注減少       | 12 人手過剰  |
| 4 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他   |
| 9 店舗・生産設備過剰     |          |

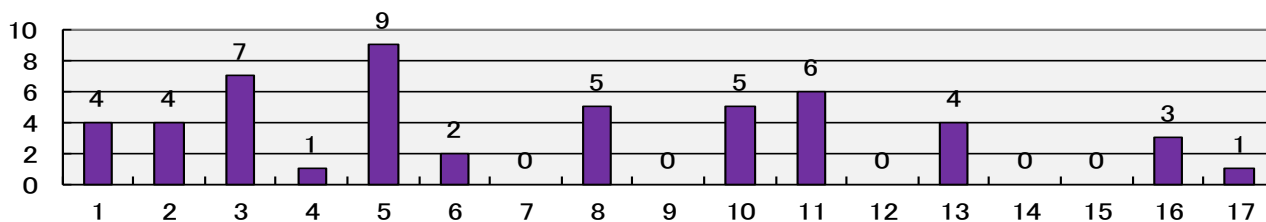
全業種(複数回答)



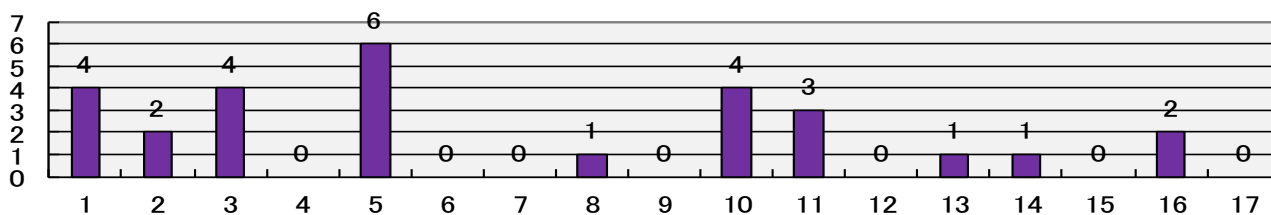
建設業(複数回答)



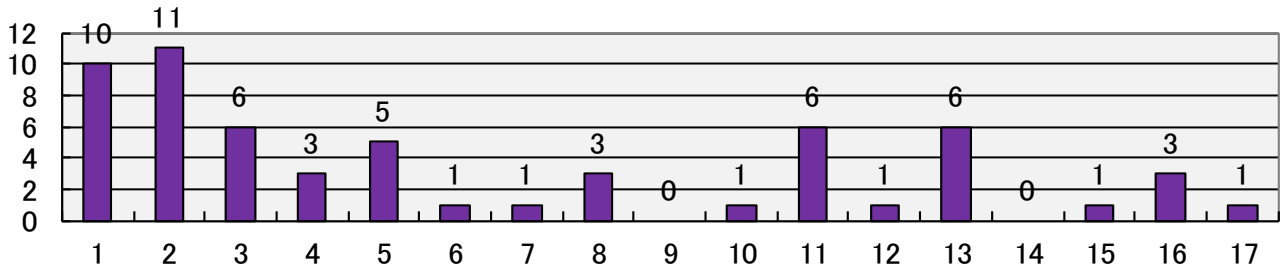
製造業(複数回答)



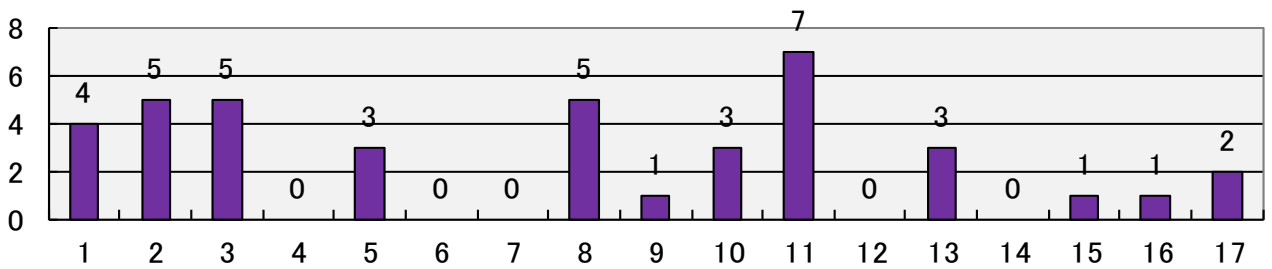
卸売業(複数回答)



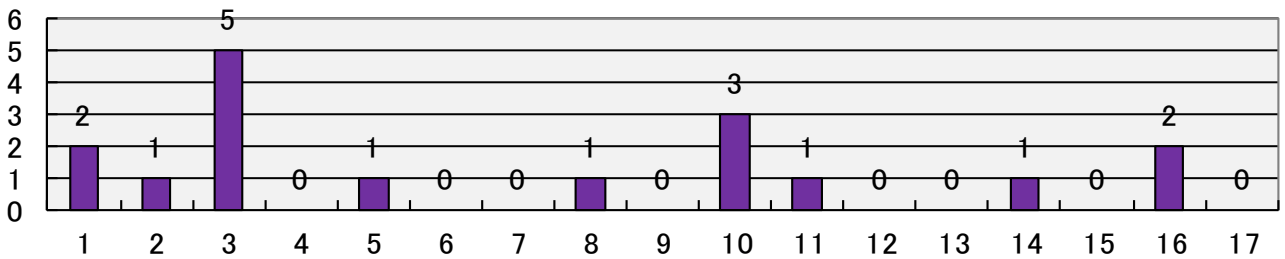
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)





事業所名: \_\_\_\_\_ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成30年4~6月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(平成30年4~6月)の状況と、今期と比較した来期(平成30年7~9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 01 競争激化          | 10 経費の増加     |
| 02 消費・需要の停滞      | 11 人手不足      |
| 03 売上・受注減少       | 12 人手過剰      |
| 04 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下     |
| 05 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難     |
| 06 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難     |
| 07 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出     |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他: 具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰     | ( )          |

回答欄

1位 \_\_\_\_\_

2位 \_\_\_\_\_

3位 \_\_\_\_\_

【質問3】Ⅰ. 2018年度(2018年4月~2019年3月)の賃上げの状況についてあてはまるものに○印をお付け下さい。

1: 賃上げを実施⇒Ⅱへ      2: 賃上げを見送る⇒Ⅲへ      3: 現時点では未定

Ⅱ. 賃上げを実施する理由についてあてはまるものに○印をお付け下さい。

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1: 業績が改善したため      | 2: 人材確保・定着のため             |
| 3: 最低賃金が引き上げられたため | 4: 社会保険料の増加で手取り額が減少しているため |
| 5: その他 ( )        |                           |

Ⅲ. 賃上げを実施しない理由についてあてはまるものに○印をお付け下さい。

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1: 今後の経営環境・経営状況が不明瞭なため       | 2: 業績の改善が見られないため     |
| 3: 社会保険料の増加により会社の負担が増加しているため | 4: 増員による人件費の増加を抑えるため |
| 5: その他 ( )                   |                      |

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。